課題文の理解

◎「自立」をめぐるパラダイム転換

「自立」とは何か？

・当事者主権：自分のニーズは自分で決める

・他人の世話になる＝「自立」　cf.ADLとQOL

パラダイム転換とは何か？

・before：近代個人主義的な「自立」

・after：社会観の再確認（相互依存）

課題文からの考察

課題文

・障害者の自立とは何か？

自分

・なぜ「自立」が要請・強制されたのか？

・どのように解決・改善できるのか？

・どのような事例があるのか？

・自分はどのように考えてきたか？

答案の振り返り

理解力

・障害者の自立とは何か？

独自性

・独自の課題発見や課題分析があるか？

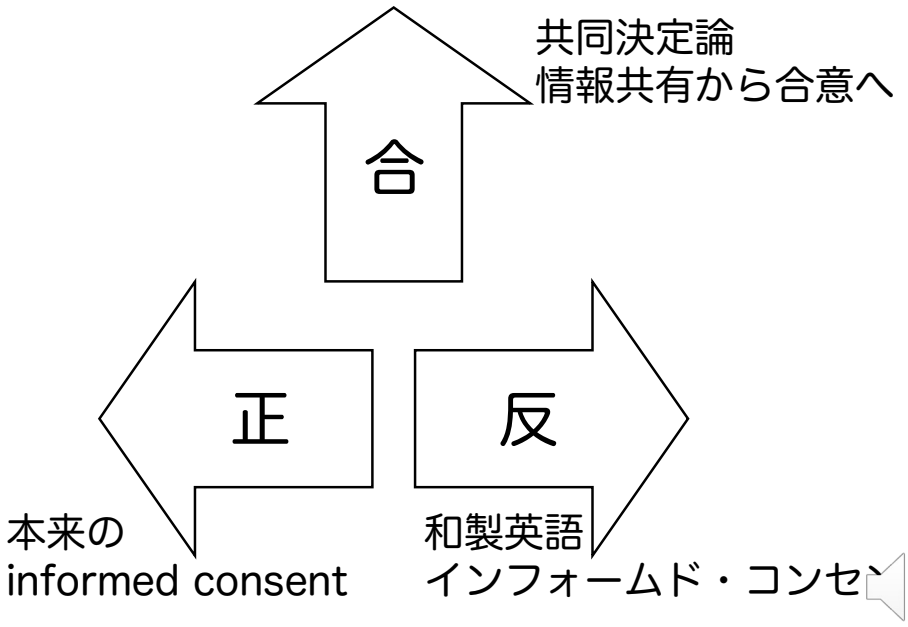
論理性

・主旨が明確で論旨が一貫しているか？

表現力

・簡潔で的確に表現できているか？

＜参考問題＞共同決定



例題１：延命治療とQOL

あなたは60歳の末期がん患者を担当している医師です。患者からは延命治療を望む一方で、副作用が強く、日常生活の質が著しく低下する可能性もあります。延命治療を施せば数か月は命を延ばせますが、生活の質はほとんど保障できません。一方で、延命治療を行わない場合、患者は短期間で亡くなる可能性がありますが、痛みを管理しながら比較的快適な生活を送れる可能性があります。あなたなら、どのように患者に治療選択を提案しますか？具体的な対応と理由を述べてください。

例題２:脳死移植と家族の判断

あなたは、事故により臨床的な脳死状態と診断された患者の担当医です。家族の同意を得て、法的な脳死判定から臓器提供に進めることも可能な状態です。しかし、家族は患者の生前の意思が不明確なため、決断に迷っています。臓器提供が行われれば複数の命が救われる可能性がありますが、家族は感情的な混乱を抱えています。あなたは、どのように家族を支援し、最終的な決断に導くかを考え、対応を提案してください。

例題３:出生前診断への悩み

あなたは、妊婦に対して出生前診断を担当する医師です。胎児には先天性疾患の可能性があります。NIPT(Non-Invasive Prenatal Testing: 無侵襲的出生前検査　母体血胎児染色体検査)ができることを説明しましたが、妊婦は検査を受けるべきかどうかで悩んでいます。検査を受けた場合、陽性が確認・確定した場合に中絶を検討することになります。妊婦はその決断に対して大きな不安を抱えています。あなたは、どのようにこの妊婦をサポートし、意思決定を促しますか？具体的な対応を説明してください。

例題４: 生活習慣病の治療

あなたは40代の会社員を担当している医師です。この患者は生活習慣病（高血圧、糖尿病）と診断されており、自己管理の必要性を理解していますが、仕事のストレスから生活習慣の改善が難しいと訴えています。患者には薬物治療を勧めましたが、多忙を理由に服薬も怠りがちなようです。あなたは、どのようにこの患者を支援し、治療への取り組みを促しますか？理由も述べてください。